

【OIE 情報】韓国における口蹄疫（0 型）の発生について

韓国における口蹄疫（0 型）の発生について、2017 年 2 月 6 日付けで OIE へ報告（緊急報告）がありましたのでお知らせいたします。

出典：OIEウェブサイト（2017年2月6日付け）

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=22735

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

【概要】

- ・発生数：1 件（緊急報告）
- ・発生日：2017 年 2 月 5 日
- ・OIE への報告日：2017 年 2 月 6 日
- ・血清型：0 型

【発生状況】

- ・2月5日：忠清北道 報恩（ポウン）郡 馬老面の農場

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
牛	195	15	0	195	0

※感染した家畜は、流涎及び水疱形成の症状を呈していた

【疫学情報】

- ・感染源：不明又は調査中
- ・現在、疫学調査を実施中

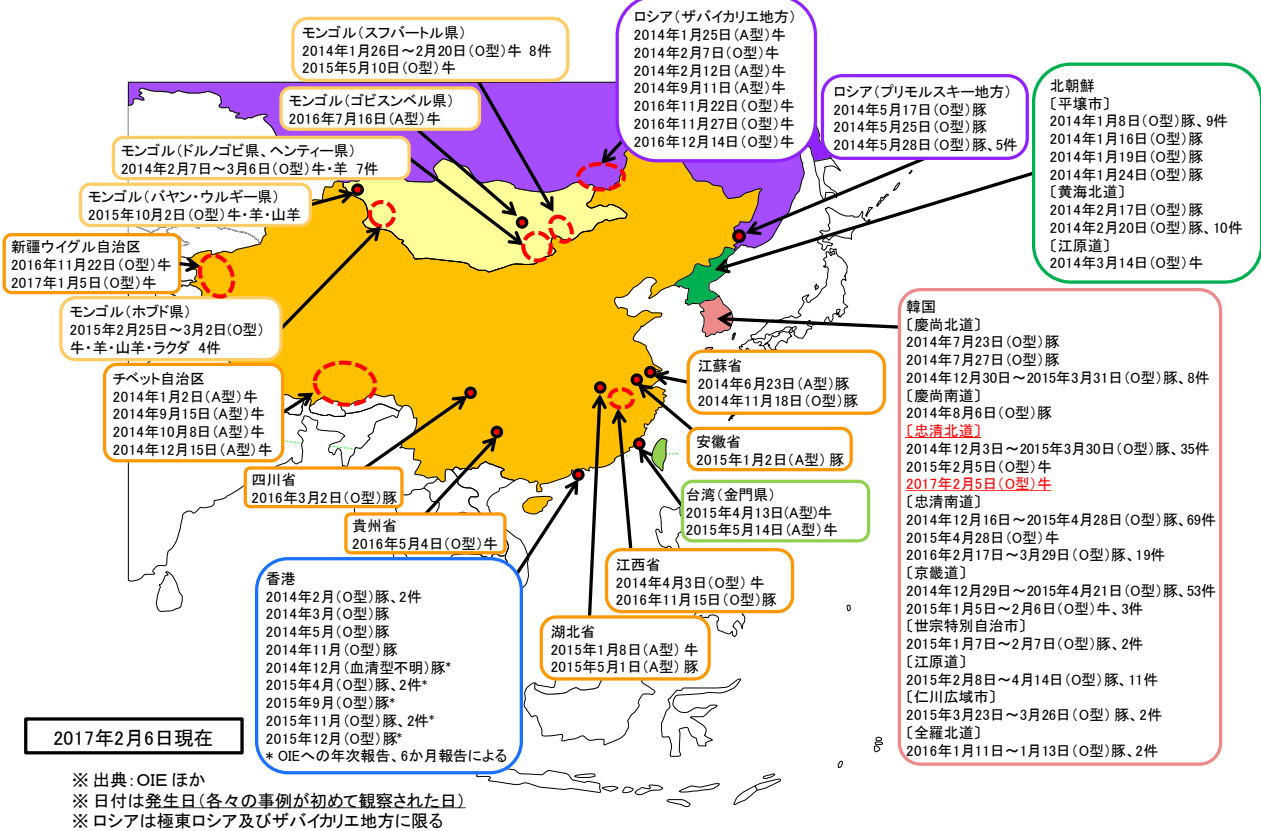
【対応】

- ・国内における移動制限
- ・スクリーニング
- ・発生に応じたワクチン接種を実施
- ・施設等の消毒実施
- ・トレーサビリティ
- ・隔離
- ・封じ込め及び/または保護区域の外側/内側におけるサーベイランス
- ・淘汰
- ・動物製品の公的廃棄
- ・死体、副産物及び廃棄物の公的処分
- ・野生宿主のコントロール
- ・ゾーニング
- ・患畜を治療対象としない

【診断】

- ・診断施設：農林畜産検疫本部（OIEリファレンス研究所）
- ・診断法：RRT-PCR：陽性（2017年2月5日）

中国、香港、台湾、韓国、北朝鮮、モンゴル、ロシアにおける口蹄疫の発生状況（2014年1月以降の発生）



※発生状況には韓国農林畜産食品部の公表した情報も含まれております。

※2016年1月以降の韓国における口蹄疫の発生情報等は、当省ウェブサイトで公表しています。

・韓国における口蹄疫の発生状況

(http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_fmd/pdf/korea_FMD_0_2017.pdf)

(参考1) 韓国での0型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

豚には0型、牛には0及びA型のワクチンを接種している。

(参考2) 中国での0型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

全ての豚、牛、羊、ラクダ及び鹿が0型口蹄疫ワクチンの強制接種対象となっている。

(参考3) ロシア（極東ロシア）での0型口蹄疫に関する情報

国境地帯に口蹄疫の緩衝地域を設定し、牛及び小型反芻動物に対して、A、0及びAsia-1型の混合ワクチンを接種している。

(参考4) 香港での0型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

全ての種豚及び12週齢以上の豚に対し、4か月ごとに0型口蹄疫ワクチン接種を実施。